



事務局では、ナターリアさんと友好関係にある方々に連絡したところ、急な案内にも関わらず、田岡市長をはじめとする22名の方々が彼女たちの歓迎会を開いてくれました。

4泊5日という短い滞在でしたが、友人たちとの再会、市内見学や今回は少し足を延ばしてニセコ、余市方面を旅行され、7月27日（水）帰国されました。

帰国後の彼女からの手紙が届きましたので紹介します。

姉妹都市ロシア・ワニノ市から ソボレヴァ・ナターリアさん再来日

石狩を心底愛してくれているナターリアさんが、お嬢さんのカーチャさんの学校卒業に併せ、旅行プレゼントという形で7月23日（土）石狩を訪ねてくれました。

親愛なる友の皆さま、こんにちは！
皆さまの温かい歓迎とおもてなしをありがとうございます。
忘れることの出来ない日々でした。

興味深いところや美しい場所をたくさん訪れることができました。しかし、一番大切な事は、親愛なる友の皆さまにお会いできたことです。

一緒に過ごした日々を決して忘れません。
帰国してからまだ数日しか経っていませんが、既に皆さんにお会いしたい気持ちでいっぱいです。
今度はぜひワニノでお会いしましょう！
お身体をご自愛ください。ご多幸をお祈りしております。

敬意をこめて 日本文化センター所長 ナターリア



▲歓迎会



ホストファミリーのサクラランボ狩り

7月17日（日）ホストファミリー同士の交流を深めるため、さくらんぼ狩りに行ってきました。

参加したホストファミリーのお子さん
から感想をいただきました。←

中島 健太郎

バスに乗った瞬間ワクワクがとまらなかつた。さくらんぼ狩りの場所までの着く時間をみんなで予想しました。ぼくは、みごと当たりました。

さくらんぼ狩りでは、誰が一番あまいかを競うしました。高い所はハンター（昨年）の留学生に採ってもらい、またはヴィエナ（昨年）の留学生におんぶしてもらったり、木にはしごで登ったりして、おいしいさくらんぼをいっぱい食べました。

お昼ご飯は焼き肉でした。さくらんぼをいっぱい食べた後なのに、はしが止まりませんでした。ご飯を食べ終わった後、不思議な物を見つけました。何やら卵のようないてみると「ヘビじゃないか」と言われました。卵の中を見てみると「トカゲ」でした。とてもおもしろかったです。ハンターとヴィエナが森の方へ行ったのでついていくと、草笛を作っていました。ぼくも作ってみるといい音が鳴りました。これもぼくにとっていい思い出です。このさくらんぼ狩り自体がとても大きな楽しい経験となりました。国際交流協会さんには感謝しています。



「親から子へ二世代に渡って留学」

昨年 8 月 13 日に、カナダから 54 人目となる留学生 ヴィクトリア・ホールさんが石狩にやってきました。彼女の母親 スーザンさんは、1988 年の留学生。石狩高校(当時)に通学し、1 年間留学生活をおくりました。初の親子 2 代の留学が実現しました。



ヴィクトリア・ホール

「ホームステイと石狩での事」

ホームステイの良いところは、全ての家族が異なることを知ることができるといふ点です。毎回、皆さんと楽しい事や新しい事ができます。多くの方々と過ごすことによって、真新しいライフスタイルが経験できます。

私は石狩で、ユニークでワクワクするような楽しいイベントに沢山参加しています。例えば、私の歓迎会や八幡神社の例大祭、さけ祭り、ワールドフェスティバル、ホストファミリーとのクリスマスパーティーやライオンズクラブ主催のクリスマスパーティーなどです。学校の行事も楽しいです。



▲さけまつり



◀クリスマス会



▲八幡神社例大祭



▲幼稚園見学

～2017-2018 キャンベルリバー高校生交換留学生募集～

姉妹都市カナダ・キャンベルリバー市で「ホームステイ」や「海外の高校生ライフ」にチャレンジしてみませんか？約 1 年間の留学生活を通して、生きた英語を学びながら、海外に第 2 の家族や友達を作る最高のチャンスです！

■留学期間 平成 29 年 8 月下旬～平成 30 年 7 月上旬まで

■派遣留学生数 2 名

■応募資格 (下記の①～⑥までの応募資格を全て満たす方)

- ① 市内居住の生徒
- ② 平成 11 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれの方で学校長の推薦が得られること
- ③ 心身共に健康で約 1 年間の留学生活に耐えうる生徒
- ④ 石狩の代表として留学中積極的に活動し、帰国後も継続して国際交流事業の推進に協力できる生徒
- ⑤ 留学中及び帰国後にカナダ人留学生のホームステイ受け入れが可能なこと
- ⑥ 留学決定後、当協会の会員(年会費 2,000 円)となり、当協会主催または市内の国際交流諸事業に積極的に参加できること

■応募方法 石狩国際交流協会配布する指定の書類を提出

■選考方法 書類審査・面接等

■応募締切 平成 29 年 4 月 20 日(木)※必着

※募集期間中、随時説明会を開催しています。(要予約)

たくさんのことを学んできたよ！



柿原
蓮

（留学期間／2015年8月～2016年7月）

私は留学生生活の中で、日本では経験できなかった皆さんのことを学んできました。私が文化の違いを感じたのはカナダの学校でした。学校の第一印象は生徒たちが個性的でとても自由なことでした。ですが1年間学校に通って気がついたことがあります。自由が許されている代わりに自己責任が伴うということです。その分、自分で考え積極的に行動することが求められました。日本にいる時は自己表現が苦手でしたが、留学中は本当にチャレンジの連続で鍛えられたと思います。キャンベリバーは景色が綺麗なところでした。ホームステイ先の近くには海や森があり、写真を撮るのが好きな私はよく散歩に出掛けていました。そのきっかけもあり、今年の春から写真の専門学校に通うことになりました。そこで写真の技術を学び、将来は海外で活躍できるようなフォトグラファーになりたいです。協力してくださった全ての方々に感謝します。ありがとうございます。



中田
乃愛

（留学期間／2015年8月～2016年7月）

私達が、交換留学を終えて、早くも半年が経ちました。留学前には「英語を学ぶ」ということばかりに焦点を当てていましたが、実際にはそれ以外のことも沢山学ぶことが出来たと感じています。特に、日本では意識していなかった人との繋がりは、本当に大切にすべきものだと思います。カナダで出会ったホストファミリーや友達との新しい繋がりは、一生の宝物です。また、彼らがいいたからこそ英語学習にも、一層力を入れることができました。私は将来医師になりたいと考えています。医師は技術だけでなく、人との関わり方や責任感も大切にしなければいけない職業だと思っています。また、英語を話すことができるといことは、海外でのボランティアをする機会があったことや、日本語が通じない人々を診察する場合に役立てられると思います。責任感や、人との繋がりを大切にすると、心、そして英語力を活かせるよう、夢の実現に向けてこれからも頑張りたいと思います。

交換留学生からの近況報告

「今、頑張っていること」...

高橋 かな美

私は将来の夢を実現させるため今はカナダに留学しています。英語と海外の文化、習慣を知っておくことが私の将来の夢に繋がると思うからです。その中で頑張っていることはもちろん英語の上達ですが、特に頑張っていることは苦手なことです。苦手なことこそ根気強く頑張れるひとは全てのことを頑張れる人だと思うので、常に今の自分が苦手なことを頑張りたいと思っています。今の私が苦手なことは、決めたことを継続することです。環境が変わりつついつい忘れがちになってしまう日々の自分の決めた事柄を確実に毎日こなしていけるよう携帯のリマインダーを設定したり、紙に書き出し自分の部屋の目立つ場所に貼ったりして継続できるように頑張っています。例えば、ストレッチや筋トレだったり、読書や新しい単語を毎日10個覚えることだったり。これからも、苦手なことは変わっていくと思います。その度、その時の自分が苦手なことを常に頑張っていきたいと思っています。



▲真ん中・高橋かな美

「海外生活」... 鎌倉 美咲

キャンベリバーで生活してもうすぐ4カ月になるうとしています。食事、学校、気候などの文化の違いに驚いてきた毎日でしたが、今ではもう慣れてきました。カナダの人は朝食を別々に食べます。学生だったとしても自分で作らなければいけません。またお昼ごはんも自分で用意して持ってきます。サンドイッチ、フルーツ、または夜ご飯の残り物を持ってく人もいます。わたしはそれを最初に聞いたときほんとに驚きました。毎朝そんなことしなきゃいけないなんて大変だ！と思いました。また、今まで家族全員の朝ごはんから昼ごはんを作ってくれていた母のありがたみもわかるようになりました。家を離れてから、家族に頼っていたこと、また日本に帰ったあと自分1人で出来ることなど自分を成長させてくれることもたくさんです。今は学校の友達と休みの日に遊ぶのが楽しみの一つです。大抵はどの友達と遊ぶときも映画を見ます。

みんな毎回騒いでいるのでとても楽しいです。こ
こキャンベ
リバーでしか
作れない思
出をたくさん
作りたいです。



▲左・鎌倉美咲